

別紙

I. 事業評価総括表(令和3年度)

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に 係る整備、維持 補修又は維持 運営等措置	市道202号線 舗装道補修工事(2)	桐生市	3,960,000	3,750,000	

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表(令和3年度)

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道202号線 舗装道補修工事(2)				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		桐生市				
交付金事業実施場所		桐生市黒保根町下田沢地内				
交付金事業の概要		施工延長 L=209.0m 舗装工 A=1152.2.0㎡				
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要政策: 桐生市新生総合計画 5章都市基盤の整備 1節道路交通網の整備 3項生活道路の整備 (2)人と環境にやさしい道づくり ・既設舗装道が経年劣化により、ひび割れ及び剥離が生じ、周辺住民の通行に支障をきたすことから、舗装補修を行う。 目標:歩行者の転倒事故及び苦情件数を0件にする。現状(令和元年 2件 令和2年 1件 令和3年 3件)</p>				
事業開始年度		令和2年度	事業終了(予定)年度		令和4年度	
事業期間の設定理由		他の事業と並行し継続工事で施工するため。				
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	
	0件	市道202号線(2)本事業区間での事故及び苦情件数	成果実績	件	令和5年度	
			目標値	件		0
			達成度	%		
	評価年度の設定理由					
	施工後の転倒事故及び苦情の効果を把握するため。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
舗装整備により施工区間の安全性は確保できたが、範囲の延伸を望む要望が増えたことから令和4年度も継続し実施いたしたい。						
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	2年度	3年度	4年度
	舗装補修	活動実績	m	120	209	
		活動見込	m	120	220	90
		達成度	%	100.0%	95.0%	0.0%
交付金事業の総事業費等		令和2年度	令和3年度	年度	備考	
総事業費		2,035,000	3,960,000			
交付金充当額		1,900,000	3,750,000			
うち文部科学省分						
うち経済産業省分		1,900,000	3,750,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
舗装道補修工事		指名競争入札		(有)角田組		3,960,000
交付金事業の担当課室		地域振興整備局黒保根支所地域振興整備課				
交付金事業の評価課室		地域振興整備局黒保根支所地域振興整備課				